

世界に目を向け地域に根ざした教育を進めるGLOCAL SCHOOL  
**2019年度南浜中学校教育ビジョン**

教育関係法規  
 学習指導要領  
 新潟市教育ビジョン  
 新潟市学校教育の重点等

**教育目標**  
 深く考え 心豊かに 実践する生徒

**当校の課題**

- 基礎・基本の定着が十分でない生徒がおり、個人差が大きくなっている。
- 家庭学習習慣が十分に身に付いていない。
- 生徒数が減少する傾向にある。
- いじめのない学校づくりのため、学級経営力の向上と人間関係づくりを強化する。
- 指導上特別な配慮や支援が必要な生徒がおり、その対応が必要である。

**基本姿勢**

- 3C (Challenge, Change, Comfort) 1UPプロジェクト2 ~あたりまえのレベルを上げる~
- 持ち味とチャンスを生かし 一人一人が輝く全員主役の学校

**重点目標 (目指す生徒像)**

- これからの社会をよりよく生きぬく生徒
  - ・自ら課題を設定し、課題解決に向けて、主体的に行動する
  - ・自他の違いを認め合い、他を尊重しつつかわり合い、合意形成する
  - ・社会の変化に対応し、柔軟な発想と豊かな表現で未来を構想する
  - ・世界的視野で考え、地域での活動を通して、地域貢献や社会貢献する

**働き方改革**

- ・時間外務の削減
- ・年休取得推進
- ・部活動ガイドラインの遵守

主体的な学び	自律性と社会性	共生教育
<p><b>1UP組織目標</b> 主体的に学びに向かう力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度の成果を踏まえた、「振り返り」のある授業づくりの推進</li> <li>○授業とつながった家庭学習の習慣化を図る取組の推進 →シンカタイム</li> <li>○自ら課題を発見し、その解決のために「主体的・対話的で深い学び」を導く学習過程の工夫</li> <li>○学ぶ意義や目的を自覚させ、学び方を習得させることによる、主体的な学びへの変革</li> <li>○道徳授業の「考え、議論する道徳」への質的転換</li> </ul> <p><b>&lt;達成基準&gt;</b>                      新潟市学習意識調査のアンケートにおける、「授業の振り返りをする事で、学んだことについて復習したり、次の予習をしたりするなど、学習を深めるようになった」と「宿題以外にも自主学習をしています」の項目を3段階評価し、最も肯定的な評価が60%以上の学年が                      3つの学年・・・A      2つの学年・・・B,                      1つの学年、またはなし・・・C</p>	<p><b>1UP組織目標</b> 生徒の社会性を高め、自尊感情を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○意図的な特別活動を核にした、一人一人の特性を生かし活躍する場面の設定による、自尊感情を高める活動の展開</li> <li>○QU等を生かした学級経営力の向上と、ソーシャルスキルトレーニング等による望ましい人間関係づくりの推進</li> <li>○生徒の丁寧な見取りと情報の共有、組織的対応によるいじめの早期発見と即時対応</li> <li>○生徒会を中心にした「絆プロジェクト」の推進</li> <li>○セルフマネジメントを意識した行動様式の確立</li> </ul> <p><b>&lt;達成基準&gt;</b>                      アンケートで「生活習慣の改善に繋がった」                      A 80%以上 B 70%以上 C 70%未満                      アンケートで「自ら進んで挨拶することができる」                      A 80%以上 B 70%以上 C 70%未満                      アンケートで「リーダー会議を通して学校や委員会の課題を共有し、改善に向けて主体的に取り組むことができた」                      A 80%以上 B 70%以上 C 70%未満</p>	<p><b>1UPの方向性</b> すべての生徒に優しい授業の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全校体制での適切な支援に向けた、生徒一人一人の教育的ニーズの把握、保護者と合意に基づいた合理的配慮の提供</li> <li>○すべての生徒を対象にした、ユニバーサルデザインによる授業、教室環境の整備の推進</li> <li>○新潟水俣病を中核にした人権教育、同和教育の推進</li> <li>○身近な問題から地球規模の問題まで、幅広く問題意識をもち、持続可能な世界を目指すESD教育</li> </ul> <p><b>&lt;達成基準&gt;</b>                      令和元年版「南浜中スタンダード10」を作成する                      A・・・5月末までに作成した B・・・6月以降に作成した C・・・作成しなかった                      年間2回の「南浜中スタンダード10」生徒アンケートで肯定的な回答が                      A・・・90%以上 B・・・70%以上 C 70%未満                      UDLに関する職員研修を前後期1回ずつ以上実施する                      A・・・前後期に1回ずつ以上 B・・・前後期どちらか1回 C・・・年間で1回未満</p>

**健康・体力の向上、基本的生活習慣の確立** : 1UPの方向性 時間管理を核として、基本的生活習慣の見直しを図る

- 「早寝、早起き、朝ご飯」の推進と保護者への啓発活動の実施
- 生徒に考えさせる内容での、スマホ・SNSの継続的指導
- 時間管理を意識させ、主体的な生活の促進による、基本的生活習慣の再考
- 運動量確保に向けた、授業や部活動、その他の活動での工夫と実践

**持続可能な地域連携、地域貢献と意味づけ** : 1UPの方向性 各教科領域における地域連携の意味づけと再構築

- 学校における地域の学びの拠点づくりの充実
- 持続可能な形での地域と学校パートナーシップ事業を推進するための、大学、企業、団体を含む地域の人や施設との連携の充実
- 学校だよりやHPなどの情報発信による、教育活動への関心の喚起

**校種間連携**

- 9年間を見通した小中連携事業 (南浜中学校区教育研究会)
- 学生との協働による人材育成支援事業

**【社会に開かれた教育課程】**

- 積極的に地域・外部人材を活用し、多様な教育活動を展開する
- キャリア教育の視点から、3年間を見通し教科領域を越えた指導計画を作成し、系統的に教育活動を実施する